

20周年、またその先の未来を感じさせるチアリーダー達の活躍

第20回北信越選手権大会

6月1日（日）、いしかわ総合スポーツセンターにて「第20回北信越チアリーダーディング選手権大会 兼 JAPAN CUP 2025 北信越地区予選」が開催されました。昨年度、本大会は同会場での開催を予定していましたが、昨年元日に発生した能登半島地震の影響により会場変更となり、今年は3年ぶりに石川県での開催となりました。

今大会には北信越地区から28チーム、365名の選手が出場し、20周年記念大会にふさわしい盛り上がりのうちに幕を閉じました。

総合優勝

総合優勝を飾ったのは、中学校の部に出場したキッズチア富山 TINKS（富山県、以下 TINKS）とチアリーダーディングチーム PUPPYS（富山県、以下 PUPPYS）の合同チームです。ダンスやアームモーション、ジャンプ・タンブリングなどの平場の技術を存分に発揮し、今年も盤石の演技で会場を沸かせました。

一部スタントにミスが出たものの、見事なリカバリーによって違和感を感じさせず、スピード感のある展開や観客を引き込む工夫、選手の表現力や輝く笑顔、キレのあるスタントなど、総合力を発揮。中学生ながら3年連続4回目の総合優勝を果たしました。規定演技でも2位に入り、JAPAN CUP 進出を決めています。



各部門の活躍

PUPPYS は小学校低学年の部で PUPPYS・A が優勝。小学校高学年の部やマスターズの部でもチアスピリット溢れる堂々たる演技を披露しました。

また、高等学校の部では富山県立富山商業高校（以下、富山商業）との合同チームで出場し、見事総合優勝を果たしました。さらにエキシビション ジュニアスターでも受賞し、出場したすべての部門で素晴らしい演技を披露しました。

この他、選手・実行委員の投票で決定するベストマナー賞も受賞。「チアリーダーディングを通して人間力向上を目指し、頑張る人を応援する」というチーム理念を見事に体現し、石川県に元気・勇気・笑顔をもたらしました。JAPAN CUP でもそのチアスピリットが全国に感動を届けてくれることでしょう。

高等学校の部 JAPAN CUP 進出決定

JAPAN CUP 進出をかけた高等学校の部では、7チームが激戦を繰り広げました。その中で、**富山商業**と **PUPPYS** の合同チームが初優勝を果たしました。

富山商業は北信越地区を長年牽引してきた地力を持ち、PUPPYS は総合的に優れたチームです。この2チームが組み合わさることで、完成度の高い演技を披露しました。

しかし、合同チームならではの課題や困難がありました。富山商業は近年部員不足に悩まされ、PUPPYS は高校生として3層スタuntsに初挑戦するなどのチャレンジが求められました。それらを乗り越え、規定演技でも総合1位となり、見事地区予選通過を果たしました。



昨年の優勝校である**小松大谷高校（石川県）**は、2連覇を目指しましたが、序盤と後半でスタuntsの落下ミスがあり、惜しくも準優勝となりました。とはいえ、高さのある美しいスタuntsや、16人全員で魅せる迫力のあるダンス、高いジャンプなど見ごたえのある演技を披露しました。規定演技では高等学校の部で2位となり、準決勝進出を決定。JAPAN CUPでは雪辱を果たし、上位入賞が期待されます。

また、高校の部において、

- **東海大学付属諏訪高校（長野県）**が規定演技3位、自由演技4位
- **石川県立金沢商業高校（石川県）**が規定演技4位、自由演技3位

それぞれフライデートーナメント進出を決めました。



大学の部・エキシビション ジュニアスターの結果

大学の部では、**金沢大学（石川県）**が唯一のエントリーとなりました。序盤は順調な滑り出しでしたが、演技の最後に挑戦した3層スタッツでミスが発生し、目標としていたJAPAN CUP 予選通過は惜しくも果たせませんでした。

練習では成功していた技が本番で決まらなかった悔しさがありながらも、選手たちはすぐに前を向き、次の目標に向けて努力を続けています。今後のさらなる活躍に期待したいところです。



エキシビション ジュニアスターでは、

- **小松市チアリーディングチーム・A（石川県）**と **TINKS** が技能賞を受賞。
どちらのチームも、エキシビションながら高度な技術力を発揮し、堂々たる演技で観客を魅了しました。



また、以下のチームがそれぞれ賞を受賞しました。

- **金沢チアリーディングジュニアチーム（石川県）**、**PUPPYS**：奨励賞
- **糸魚川チアリーディングクラブ・A（新潟県）**、**長野ジュニアチアリーディングチーム（長野県）**、**チアリーディングチーム能登きらきら KIDS（石川県）**：グッドスマイル賞



今大会も多くのジュニアチームが出場し、見ごたえのある演技をたくさん披露しました。北信越地区のチアリーディングの未来への期待がますます高まる素晴らしい大会となりました。



今大会では競技に先立ち、大会 20 周年を記念したチアクリニックが開催されました。高校・大学各チームのキャプテンが青マットに立ち、観客を先導して「Let's Go 北信越 Go Fight Win!!」の掛け声をかけ合い、会場は大きな一体感に包まれました。

9名のチアリーダーによる笑顔あふれる呼びかけに応じるように、観客も声を合わせ、大会の雰囲気を一層盛り上げました。

ライバルでありながらも互いを全力で応援し合う——これこそがチアリーディング大会ならではの魅力です。特に北信越地区ならではのアットホームな雰囲気の中で、ひたむきに競技に打ち込むチアリーダーたちの真摯な姿勢が際立ち、それを応援する家族や関係者、観客の皆さんの温かさが大会をさらに特別なものにしました。

未来へつながるチアリーディングの力

20周年を迎えた北信越選手権は、単なる記念大会に留まらず、これからの10年、20年、さらにその先へと続く未来へ向け、明るく元気な希望を感じさせる大会となりました。選手たちの活躍が今後も輝きを増し、より多くの人に感動を届けてくれることでしょう。

本サイトの記事、写真の転載はご遠慮ください。無許可の転載・複製は法律により罰せられます。

Unauthorized reproduction or duplication is punishable by law.